



2019年5月10日

各位

会社名 21LADY株式会社
 代表者名 代表取締役社長 米道利成
 (コード番号: 3346 名証セントレックス)
 問合せ先 経営管理担当
 マネージング・ディレクター 辻井彰彦
 電話番号 03 (6279) 4887

特別利益、特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

2019年3月18日付に開示いたしました「連結子会社の異動を伴う株式の譲渡及び新株式発行の資金使途変更に関するお知らせ」に関して、特別利益、特別損失を計上するとともに、2018年9月14日に公表いたしました2019年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益、特別損失の内容

2019年3月29日において、当社連結子会社である株式会社イルムスジャパン（以下、イルムスという。）の全株式を譲渡した結果、イルムスが当社グループの連結対象外となり、特別利益として関係会社株式譲渡益137百万円、特別損失として貸倒引当金84百万円を計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A) (2018年9月14日発表)	百万円 2,493	百万円 △74	百万円 △82	百万円 △95	円 銭 △13.38
今回修正予想 (B)	2,519	△137	△145	△127	△17.24
増減額 (B-A)	26	△63	△63	△32	
増減率 (%)	1.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	2,557	8	△2	△23	△3.39

3. 修正の理由

売上高については、ほぼ計画通り推移したものの、イルムス事業における高収益率であるコーポレート事業の売上減による売上原価率のアップとヒロタ事業における原材料費の上昇により、売上原価は計画を上回り、販売及び一般管理費においても、計画外のイルムス株式譲渡にかかる仲介手数料等を計上したことにより、営業利益、経常利益は予想値を下回る見込みであります。

また、特別損益においては、上記1.の特別利益、特別損失に加え、無形固定資産（商標権）売却損10百万円等を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上